



市民との意見交換会

総務常任委員会 × 多摩市農業委員会



令和7年1月14日、多摩市農業委員会の委員の皆様から、「多摩市の農業における現状と課題について」をテーマに、農業委員のみなさんが活動で工夫されていること、ご苦労されていること等についてお伺いしました。

農業委員から出された課題、市への要望など

農産物では、有機野菜が多い市内産野菜の安心安全をもっとアピールしたい、気候変動のもと農家の暑さ対策等の工夫を注目してほしい、PR・販路拡大では、直売所が多摩センター地域にない、農家が売りたい野菜を応援する仕組みがほしい、などの意見がありました。

農地保全では、「食・農・環境」の3者連携の仕組みをつくりたい、支援策では、資材等の高騰が続いているなか補助を行ってほしい、若手の農機具購入費用の支援、などの要望がありました。人材育成では、20年、30年後の多摩市の農業を支える人は若い方であり、彼らのやる気が起きる施策を考えてほしい、などの意見が出されました。

「多摩市ブランド」表示など市として受け止めるべき課題

出された意見・要望の内容は多岐に渡りましたが、社会の基礎である農業の持続可能性が危ぶまれるという危機感が委員たちの意見から伺えました。国や都に提起することも多くありますが、多摩市の課題として市内産野菜に「多摩市ブランド」の表示をすること、また財源などの課題はありますが、農業者への支援など、議会として都市農業振興に寄与していきたいと思っています。



健康福祉常任委員会 × 多摩市民生委員協議会



令和7年1月20日、多摩市民生委員協議会の役員の方々と「民生委員の仕事とは」、「現在の課題と今後の展望」をテーマに意見交換を行いました。

現在の課題と今後の展望

現在、民生委員が抱える一番の問題は何といっても「成り手不足」です。この問題は、全国的にも共通する問題であり、本市も例外ではありません。高齢化が進む中で深刻化は増えています。また、成り手不足を解消しにくい要因として、法律上、当該地域の住民であることが民生委員になる場合の条件であることや、地域の様々な活動が低迷化していることにも原因があると言えます。よって、民生委員一人一人の肉体的負担に加えて、精神的な負担もより大きくなっている現状が理解できました。日常活動の中では、民生委員の世話になっていることを知られたくないという方への配慮や、夜間の緊急対応が難しい状況であることなどから、現実的な支援の難

しさも浮き彫りになっています。

今後は、オンラインの活用などで負担の軽減を考えてはいますが、効果のほどは未知数です。意見交換を行った当委員会としては、市民が安心して地域で暮らすためにも、民生委員の活動は重要であると考えています。よって、民生委員の成り手を確保し円滑な活動を継続していくためにどうしたらいいのか、議会としても引き続き研究していくことが必要であるため、今後も民生委員の皆様と意見交換の機会を継続させる必要があると考えます。

